

# 絵本の読み聞かせスキルに関する事例研究 ～人口減少社会における世代間交流促進を目指して～

＜研究者＞尾崎司（代表）

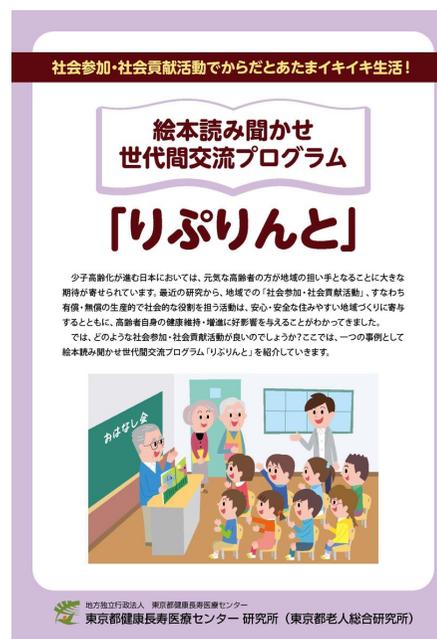
東京家政大学ヒューマンライフ支援機構  
プロジェクト研究助成費



# 1. 研究目的は、絵本の読み聞かせスキルの発達・成長



多世代交流による絵本の読み聞かせ（尾崎ゼミ）



東京都健康長寿医療センター研究所

絵本読み聞かせで、  
高齢者は生涯発達  
（成長）している  
のではないかと？

介護予防  
健康増進 ↓ ではなく、  
発達の観点

どんなスキルが働くのか  
を探究するための  
パイロット研究！

## 2. 研究方法：インタビュー＋図解・説明（KJ法）

- ・ 活動家13名を対象に半構造的インタビュー
- ・ ラベルづくり→グループ編成→図解化→叙述化

今回は、60歳代  
6名を分析

### 【基本情報シート】

- ・ 名前、年齢（歳代）、職業歴・社会活動の経験
- ・ 読み聞かせ歴（何年目）、月何回くらい
- ・ 今おこなっている読み聞かせ活動について、お聞かせください。
- ・ どこで絵本の情報を入手し、絵本を購入していますか？
- ・ 読み聞かせ活動を通じて、何か得られたことはありますか？

### 【インタビュー項目】

- (1) 現在の読み聞かせ活動について、お聞かせください。
- (2) 読み聞かせ活動を行う前まで、保育の仕事や自分の子どもに読み聞かせをすることはありましたか？  
ある場合は、それはどんな活動ですか？ 違いはありますか？  
ない場合は、読み聞かせとは関係のない活動前の経験で、何か活かされていることはありますか？

- (3) 初めて読み聞かせ活動をおこなった時のことについて、お聞かせください。  
初めて活動した時から成長したなど思えるところはありますか？
- (4) 困った、大変だな、うまくいかないという場面はありましたか？  
ある場合は、それを、どうやって乗り越えましたか？ 今は、どうしていますか？
- (5) 絵本を読んでいる最中に、子どもの言動に対してアドリブや即興で対応したことはありましたか？  
ある場合は、それをおこなった時について、少し詳しくお聞かせください。  
また、対象（子ども）に対して、何か意識していることはありますか？
- (6) 読み聞かせをするために、もっと知りたい、もっと学びたいという気持ちや行動になったことはありますか？  
読み聞かせ活動によって、何か絵本の知識が身についたり、絵本について深掘りできたりしましたか？ また、ふだん選書は、どのようにしていますか？
- (7) これまで続けてきた中で、読み方や進め方が変わったり、選書の好みや質が変わったりしたことはありましたか？

# 3. 結果と考察

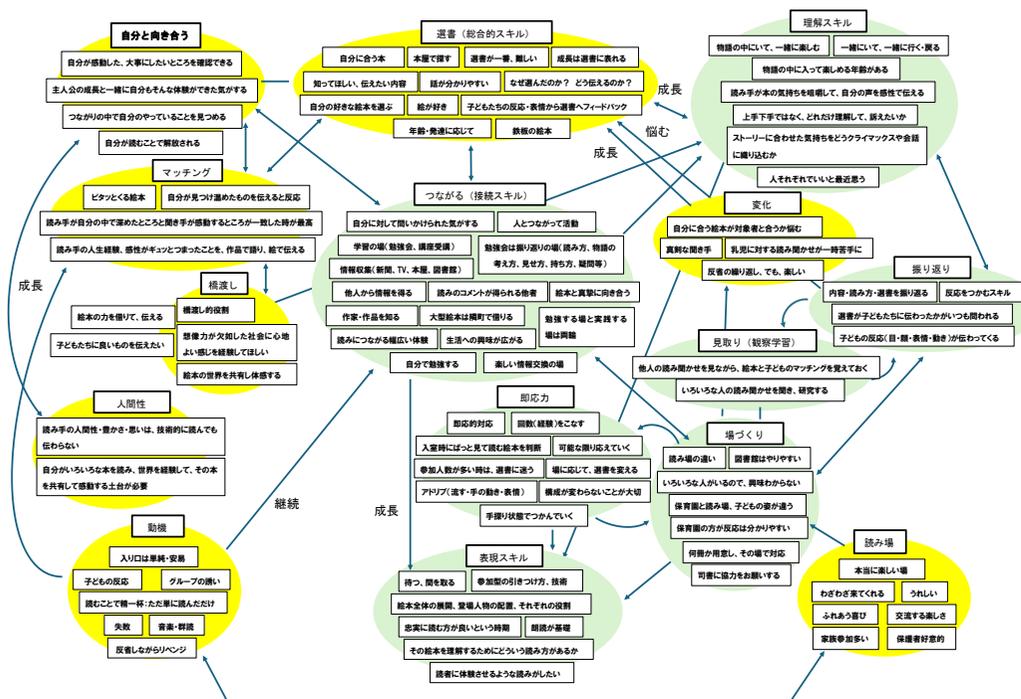
## 明確にスキルとは判別しにくいカテゴリー

読み場、変化、即応力、見取り  
→ 《場づくりのスキル》

つながる  
→ 《接続スキル》

地域での絵本の読み聞かせ活動とは、

「作品のモチーフ（作者の伝えたいこと）を自らの人生経験のフィルタを通して読み取り、表現することによって、対象（子ども）に自らの伝えたい思いを伝承する楽しみな活動」（定義）

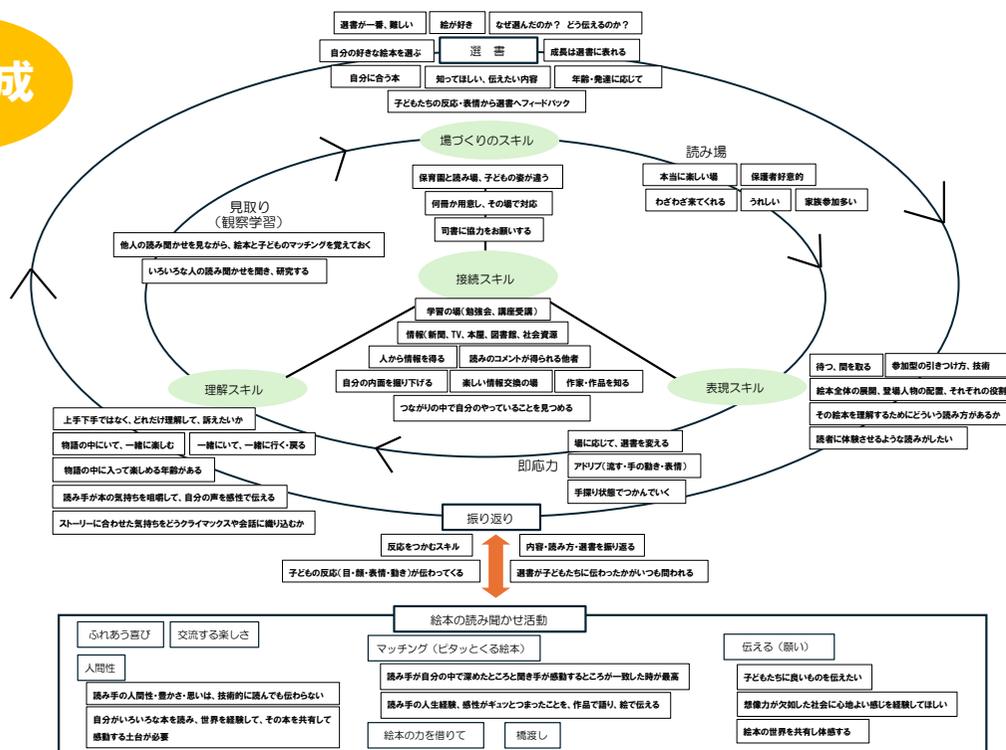


# 3. 結果と考察

## 《スキルの構造化》

仮説生成

この活動に参加することを通じて、人は作品を①理解するスキル、②表現するスキル、③場づくりのスキル、の3つのスキルを発達させる。その3つのスキルをつなぐものとして、作品・人・情報とつながるために必要なスキルとして「接続スキル」が発達するのではないか？（仮説）



## 4. 今後の課題と展望：概念を深め、変動性に着目

◎今後は60歳代前後の年齢層との比較をおこない、「接続スキル」に着目し継続的に研究を進めていきます。

生涯発達のプロセスを考える上で、この「接続スキル」を発達させることで、人とのつながりや豊かさを感じることが促進されるのではないのでしょうか。

◎地域における読み聞かせ活動において特徴的な「場づくり」に関して、「変動性」と「課題」のある環境や状況に関連するスキルの向上・獲得に着目し、このような要素を促進するような支援内容・プログラム構成を考えていきたい。